

BEP療法をうけられる患者さまへ



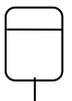
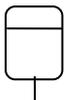
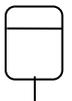
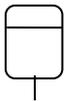
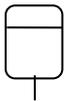
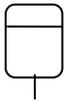
治療スケジュール 3週ごと

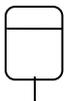
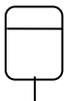
日にち 薬剤名	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	...	9日目	16日目
エトポシド注	●	●	●	●	●			
シスプラチン注	●	●	●	●	●			
ブレオ注		●					●	●

★副作用や採血結果等により、投与量や休薬期間を変更する場合があります。

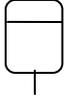
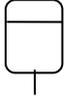
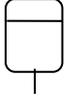
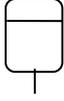
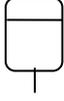
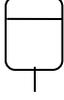
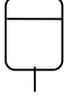
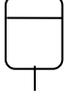
点滴の順番

1日目

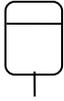
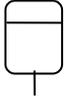
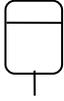
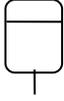
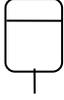
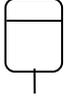
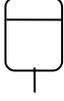
内服		シスプラチン 点滴 1時間前	アプレピタント 125mg	吐き気止め
点滴			生理食塩液 50mL	血管確保
点滴			グラニセトロンバッグ デキサート	吐き気止め アレルギー予防
点滴		60分	ピカネイト500mL 硫酸 Mg 補正液	
点滴		60分	マンニトール S	利尿剤
点滴		60分	生理食塩液 500mL <u>シスプラチン</u>	治療薬
点滴		60分	ピカネイト500mL	

点滴		60分	生理食塩液 500mL <u>エトポシド</u>	治療薬
点滴			生理食塩液 50mL	

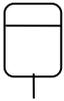
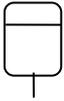
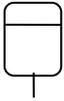
2日目

内服		朝食後	アプレピタント 80mg	吐き気止め
点滴			グラニセトロンバッグ デキサート	吐き気止め アレルギー予防
点滴		30分	生理食塩液 200mL <u>フレオ</u>	治療薬
点滴		60分	ピカネイト500mL 硫酸 Mg 補正液	
点滴		60分	マンニトール S	利尿剤
点滴		60分	生理食塩液 500mL <u>シスプラチン</u>	治療薬
点滴		60分	ピカネイト500mL	
点滴		60分	生理食塩液 500mL <u>エトポシド</u>	治療薬
点滴			生理食塩液 50mL	

3～5日目

内服		朝食後	アプレピタント 80mg	吐き気止め
点滴			グラニセトロンバッグ デキサート	吐き気止め アレルギー予防
点滴		60分	ピカネイト500mL 硫酸 Mg 補正液	
点滴		60分	マンニトール S	利尿剤
点滴		60分	生理食塩液 500mL <u>シスプラチン</u>	治療薬
点滴		60分	ピカネイト500mL	
点滴		60分	生理食塩液 500mL <u>エトキシド</u>	治療薬
点滴			生理食塩液 50mL	

6、7日目

点滴		120分	生理食塩液 500mL	
点滴			グラニセトロンバッグ	吐き気止め
点滴		120分	ピカネイト500mL	

点滴		120分	ビカネイト 500mL	
----	---	------	-------------	--

9、16日目

点滴			生理食塩液 50mL	
点滴		30分	生理食塩液 200mL <u>フレオ</u>	治療薬
点滴		120分	ビカネイト 500mL	

点滴部位の痛みや腫れ、点滴が落ちにくいなどがあれば、すぐにナースコールして下さい。点滴の時間は、おおよその時間です。多少前後する事があります。



おもな副作用



★アレルギー反応★

薬に対する過敏反応が起きることがあります。点滴中に、息苦しい、胸が痛い、心臓がドキドキする、顔がほてる、汗が出る、発疹が出る、などの症状があったら、すぐに連絡しましょう。

★吐き気（悪心）・嘔吐、食欲不振★

消化管（口、胃、腸）の粘膜や、脳の中樞を刺激することによって起こります。数時間後に始まることが多いようですが、人によって数日間続く場合もあります。つらいときは我慢せず、早めに言いましょう。

★腎障害★

膀胱や腎臓に影響をあたえる場合があります。排尿時の痛み、トイレが近くなる、血尿が出る、尿意が突然現れる、尿が少ない、熱や寒気がするなどの症状が出たときは伝えて下さい。腎臓を守るために尿の量をふやします。点滴で大量の水分を補い、利尿剤も使います。

★下痢、便秘★ 下痢や便秘になることがあります。

★口内炎★

口の中・歯肉・咽頭がしみる、ひりひりする、赤くなるといった症状が出る場合があります。口の中を清潔に保つよう心がけましょう。

★発熱★ ブレオ投与後4～5時間あるいはさらに遅れて発現することがあります。

★皮膚症状★

発疹、皮膚肥厚、色素沈着、つめの変形・変色、かゆみを伴うことがあります。主にブレオによる副作用です。

★手足のしびれ（末梢神経障害）★

治療後3～5日後から、手や足がしびれたり、刺すような痛みがあったり、手の指や足の裏の感覚が変わってきたり、鈍くなったりすることがあります。気になるときは我慢せず伝えて下さい。

★聴覚(聴力)障害★

聞こえにくかったり、耳鳴りがおこったらすぐに伝えて下さい。

★骨髄抑制（白血球・ヘモグロビン・血小板の減少）★

血液中の細胞成分は白血球・赤血球・血小板の3種類で、骨髄で造られ、化学療法の副作用により骨髄の機能が低下し減少します。

白血球・血小板は、7－14日で最も減少します。

	対 応
白血球 (好中球: NEUT)	白血球(好中球)は、細菌から体を守る働きをしていますので、白血球が低くなると体の抵抗力が弱くなり、感染症を起こしやすくなります。 マスクをしたり、手洗いやうがいをして感染を予防しましょう。
ヘモグロビン (Hb)	赤血球の中のヘモグロビンは酸素を体中に運ぶ役割をしており減少すると、貧血の症状（動悸・めまい・息切れ・頭痛・倦怠感・立ちくらみなど）が現れます。ヘモグロビンが かなり下がると赤血球輸血をすることがあります。
血小板 (PL)	血小板は、血を止める働きがあります。血小板が5万より減少すると、出血しやすくなります。(血が止まりにくい・鼻血が出やすい・青あざがでやすい。)血小板がかなり下がると血小板輸血をすることがあります。

★脱毛★

薬によって、髪が抜けるものと抜けないものがあります。また、髪の抜け方に個人差があります。治療後2～3週後あたりから毛が抜け始め、髪以外の部分（体毛・眉毛・陰毛）でもおこります。治療が終了して6～8週後には毛が生え始め約半年でほぼ回復します。

★肺障害★

肺障害は投与日より遅れて出ることが多く、投与終了後2カ月ほどは、発熱や咳、動作をしたあとに息切れがするなどの症状があればすぐに主治医に連絡してください。

★しゃっくり（吃逆）★

アプレピタントカプセルやシスプラチンで起こることがあります
男性に多く出やすいです。

★その他★

肝機能障害、疲労感・倦怠感（だるさ）、など

上記のような副作用が主に挙げられますが、必ずこれらの副作用が起こるわけではなく、個人差があります。副作用をおさえる薬もありますので、気になることがあれば何でも伝えてください。

